

# 地域の暮らしを話す会

## 令和元年度実施報告書



社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会





## 目次

1. 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは	p 2
2. 令和元年度実施報告	p 5
3. 地域の暮らしを話す会の効果	p 7

### 【各地区の意見詳細】

①日新地区	p 12
②佐野台地区	p 15
③北中地区	p 18
④三小地区	p 20
⑤末広地区	p 23
⑥一小地区	p 29
⑦長滝地区	p 34
⑧上之郷地区	p 39
⑨大土地区	p 41
⑩長坂地区	p 43
⑪日根野地区	p 47
⑫南中地区	p 51
⑬中央地区	p 55
⑭二小地区	p 57

# 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは

## 1.地域の暮らしを話す会（住民座談会）ってどんなもの？

→地域の困りごとを地域住民で話し合っって把握する場です



「住民座談会」とは、例えば「小地域」ごとに住民の皆さんが1か所に集まって、『地域』の現状や課題（いいところや困りごとなど）を話し合っって把握し、地域の将来像を考えあう場のことです。住民座談会で出たことは「地域福祉活動計画」に反映されるので、自分たちが「住み続けたい」地域の将来像を実現する手がかりとなります。

座談会がなぜ  
必要なの？

3つの理由があ  
ります。



## 2.住民座談会がなぜ必要なの？

→豊かに安心して住み続けられる地域社会づくりのために



最近、家族や地域住民間のつながりが希薄になってきたと感じることはありませんか。日本では今、そうした社会状況が進む中で、虐待・ひきこもり・暴力・自然災害の対応・自殺など、社会問題が多様になり複雑化しています。

私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。そのためは、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

→地域のことは、地域できめていくために




「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていく」といった市民活動の動きが、各地で活発になりつつあります。

新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

地域のいいところをみんなで見つけてのばしていこう！



## →自分たちの地域の課題を改善しより良い地域をつくっていく

 目的は「地域の福祉を推進していく」誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくるのが大切です。

引き続き地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々々の時代にあった地域づくりのために「地域の暮らしを話す会」で住民参加の機会を中心として、住民の皆さん自ら主体的に参加するようすすめていきましょう。



住民座談会で、地域の困りごとをみんなまで話しあいましょう！

自然災害などで困ったとき、助けあえるといいね。

顔や名前を知らない人が結構いるからなあ。

あいさつの輪をもっと大きく広げたいな。

子どもの事件が増えて不安だわ。



### ■小地域って？

小地域とは「住民の顔がみえる地域のこと。その単位は、小学校区や町会・自治会です。地域の実情によって定めましょう。住民の皆さん自ら地域の課題を見つけ、解決していくことが可能な単位です。

★地域の暮らしを話す会は、それを行うことが目的ではありません。話す会を活かして、自分たちが住み良い地域、安心して暮らせる地域をつくっていくことが目的です。

参考文献：山口県社会福祉協議会、平成 18 年 3 月  
「地域で住民のみなさんが住民座談会を開くための手引き」



### 3. どんな形で運営するの？

#### →意見を出しやすい形を、地域とテーマにあわせて

「地域の暮らしを話す会」の運営方法については、様々な方法が考えられますが、大切なのは、「特定の参加者に発言が偏らない」「建設的に話がすすむこと」です。

参加者が多いと、ひとりひとりが話すことのできる時間が減ってしまうため、しっかりと議論をすすめることが難しくなってしまう場合もありますので、テーマや会場にあわせて、適切な呼びかけ方法を検討することが大切です。

#### ★地域の暮らしを話す会のすすめかた(例)

司会進行:社協CoW(地区担当者)

時間	内容
開始～15分	趣旨説明・自己紹介など
15分～20分	テーマの発表・説明
30分～35分	テーマに対するアイデアを各自でふせんに書く
35分～65分	ふせんをもとに、グループごとで話し合い
65分～90分	各グループで話し合った内容の発表

※地区ごとのテーマにあわせて、進行についても、上記以外に様々な工夫をこらして行いました。

#### 【※メモ】

自分の意見を「ふせん」に書くという作業には、2つの意味があります。

- ①口下手な人でも意見を表明できる
- ②後で記録をまとめるときに「発言者の属性を外す」  
(「誰が言ったか」ではなく「どんな意見か」を重視できる)

少し手間ですが、みんなで意見を出し合う時には大切な手法です。



#### ★参加者募集のしかた(例)

- 福祉委員会役員     各種団体役員に協力依頼
- 市報や回覧板と一緒に全世帯に案内     地区内の福祉施設にも案内

# 令和元年度実施報告

## 1)開催状況

泉佐野市社会福祉協議会では、泉佐野市と協働で平成25年度・平成26年度の2年をかけて「第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（いずみさのみんなの絆プラン）」の2つの計画を作成しました。

計画の策定にあたり、平成25年度に市内の14地区で2回ずつ、「地域の暮らしを話す会」を行い、そこで出た意見を「いずみさのみんなの絆プラン」に反映したり、新たな取り組みをすすめるための材料にしたりしました。

平成27年に完成した「いずみさのみんなの絆プラン」において、「計画の普及をはじめ、地域から出される新たな課題を本計画見直し時に反映」するための場として、地域の暮らしを話す会が位置づけられたことから、行政と社協、CSWが協働で継続的に取り組んで行くことになりました。計画施行5年目にあたる令和元年度については、7月から2月までの間に各地区において開催し、自分たちの日々の活動に関するテーマを中心に話し合いました。

《令和元年度「地域の暮らしを話す会」開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	日 時	場 所	人 数
日新	10月27日(日) 14時00分～	上瓦屋町会館	31人
佐野台	9月28日(土) 19時30分～	佐野台集会所	25人
北中	11月9日(土) 19時00分～	鶴原町会館	35人
三小	10月12日(土) 10時00分～	新町会館	17人
末広	12月12日(木) 19時00分～	東羽倉崎南町集会所	25人
一小	2月21日(金) 19時00分～	西本町会館	40人
長滝	7月24日(水) 15時00分～	長滝第一町内会館	43人
	9月25日(水) 14時00分～		43人
	11月27日(水) 15時00分～		43人
上之郷	10月21日(月) 19時00分～	上之郷小学校多目的室	18人
大土	11月23日(土) 19時00分～	大木小学校交流棟	39人
長坂	10月29日(火) 19時00分～	次世代育成地域交流センター	37人
日根野	11月16日(土) 19時00分～	日根野町会館	31人
南中	9月6日(金) 19時00分～	南部市民交流センター	47人
中央	11月10日(土) 10時30分～	中町会館	16人
二小	10月25日(金) 19時00分～	高松総合会館	14人

のべ参加者数 504人

## 2)当日の内容

前年に引き続き「災害」「防災」をテーマにとりあげた地区や、改めて自分たちの活動内容を振り返る話し合いをされた地区があるなかで、令和元年度の話す会の特徴としては、「担い手」をテーマし、自分たちの地域の5年後 10年後を考え、活動を継続していくためにいかに人材を発掘するか、育成していくかについて話し合われた地区がいくつかありました。小地域ネットワーク活動がスタートして20年以上が経過し、若い世代へ活動をどうつないでいくかが課題です。

### 《令和元年度の話し合いテーマの一覧》

地区	テーマ
日新	福祉の担い手について
佐野台	地域住民のつながりと支え合い～みんなで万事に備えよう～
北中	防災について考える
三小	地域の絆づくり登録制度って何だろう？
末広	災害から普段の小ネットの取り組みを振り返ろう
一小	担い手の発掘・育成について
長滝	長滝地区福祉委員会の小ネット活動の対象者の見直しについて
上之郷	安心して暮らせる地域の支え合い
大土	住民が集う場づくりについて
長坂	南海トラフ巨大地震に備えて
日根野	支部活動の振り返りから自分たちができることを考えよう
南中	福祉委員会主催の活動について振り返ろう！
中央	暮らす地域で想うこと 若い世代にバトンを繋ごう
二小	他地域の取り組みを知り、小ざくらネットの活動に活かせることや課題を考えよう

日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでいてもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の意見は異なります。



# 地域の暮らしを話す会の効果

テーマ 「担い手」に関する意見、たくさん出ました！

福祉委員会活動には、その地域に暮らす住民の理解や協力が欠かせません。令和元年度の話す会では、多くの地区や支部で日々の福祉委員会活動を支える『担い手』について、地域の状況や課題に合わせて様々な角度での話し合いが行われました。いくつかその事例を紹介します。

協力員さんの声を拾うことで新たな活動へ

--- 櫻井東支部《南中》

テーマ：福祉委員会主催の活動について振り返ろう

南中地区は、開催にあたって、日頃の支部活動で活躍している人の意見を聞くために、協力員への参加の呼び掛けを強化しました。その結果、話す会当日には多数の協力員の参加があり前年度の倍以上の人数が集まりました。

櫻井東支部では、話し合いの中で参加者から「交流の機会が少ない」「カフェをしたい」という意見がありました。後日それを具体化するための支部会議が行われ、今年度よりカフェを開催することが決まりました。

福祉委員会活動を身近で支えている協力員の声が拾えたことで、より支部の状況にあった活動が生まれるきっかけとなりました。

世代間のつながりをつくることで

新たな担い手確保へ

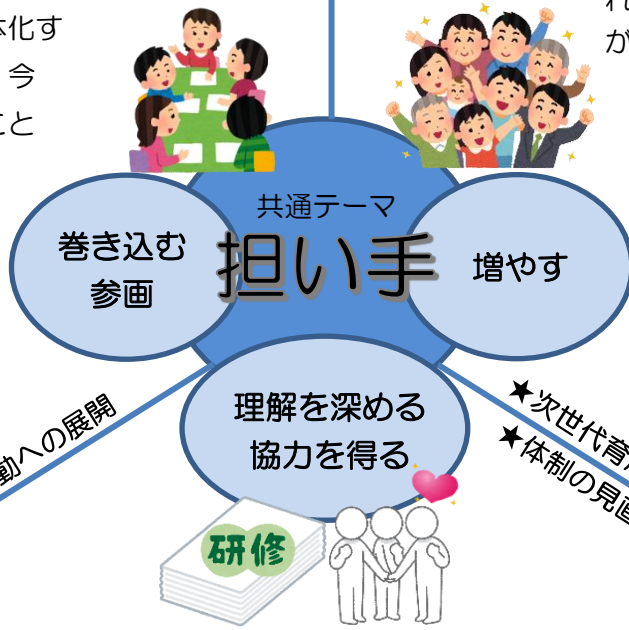
--- 羽倉崎上町支部《末広》

テーマ：災害から普段の小ネットの

取り組みを振り返ろう

羽倉崎上町支部では、1年前の話す会で「若手の災害に対する自主的な協力がほしい」という意見があげられていました。令和元年度の新たな意見として、長生会と子ども会以外の地域組織がないということへの気づきから、40-65歳の壮年層の地域組織ができればいいのではという話し合いが行われました。

災害のテーマをもとに自分たちの地域組織について見つめ直せたことで、一つの地域組織である福祉委員会としても、新たな担い手や協力の獲得、次世代の担い手を育てていくことについて新しい発想が生まれました。



★協力員 ★意見を引き出す ★活動への展開

★次世代育成 ★体制の見直し ★担い手確保 ★若年層 ★協力員 ★研修

これまでの活動体制を見直すことで新たな体制づくりへ

--- 西出支部《日根野》

テーマ：福祉委員会活動の振り返りから自分たちができることを考えよう

西出支部では個別支援活動の体制について話し合いました。活動に関わる人を増やし見守りの輪を広げるといった点やリスク管理の点から、訪問時の2人体制を確保できるようにしようという意見があり、そのためには協力員の方たちにも福祉委員会活動への理解を求め、協力を得る必要があると話合いました。

その後、支部役員と社協で、協力員対象の研修の企画も行ったことで、改めて福祉委員会活動の目的や内容、協力員体制について支部で共有し、日々の活動を見つめなおすきっかけになりました。

💡 日々の活動の中での小さな気づきや思いをみなさんで話し合い共有することで、新たな意識や動きに繋がっています。そのことがより充実した福祉委員会活動、地域づくりへとつながります。

## テーマ 長滝地区福祉委員会の年間を通した話す会（事業調整会議）の実施

地域の暮らしを話す会を年1回ではなく、年間複数回を複数年行うことで、具体的に何をどのように行うかステップを踏み話し合う取り組みをしています。



### 【事業調整会議とは】

これまでの長滝地区福祉委員会の活動を振り返り、昨今の課題となっている老々介護や認知症高齢者などに合わせた『住みよい長滝』の実現のため、「出来ることは何か」「どうすれば良いのか」を検討するための協力員たちによる話し合いの場。



### 【事業調整会議の検討課題について】

小地域ネットワーク活動の対象者の見直し～長滝のニーズに合わせた取り組みについて～



### 【事業調整会議の各回のステップについて】 ※話し合いの中身は P.35～39 参照

(第1回)

#### 気になる人・気になる事は？！

- ・高齢者世帯、老々介護、認知症、日中独居
- ・担い手について、活動の支部合同開催について

(ポイント) <思いの発散と見える化>

- ・事業調整会議の必要性について共有する。
- ・協力員さんたちの思いを発散してもら

(第2回)

#### 長滝地区福祉委員会の目標を決めよう！

『つながりを広げよう～福祉委員会と関わりが少なかった人たちとのつながりを作っていきたい～』

(ポイント) <目指す方向性の共有>

- ・第1回目で発散した思いにそって、「どんな長滝にしていきたいか」みんなで考え、目標設定を行う。

(第3回) 対象者と活動の絞り込み

- ・高齢者世帯や老々介護の人たちにもサロンにきてほしい。役割があると来てくれるのでは。
- ・支部合同で行事をして会館利用を見せていこう。

(ポイント) <対象者の具体化>

- ・活動ごとの目的を振り返る。
- ・活動ごとの目的に合った対象者を具体化する。



### 【成果】

年間複数回の話し合いの場を開催したことで、実際に活動に携わっている一人一人の協力員の方たちの思いを丁寧に聞くことができ、どのような長滝にしていきたいのか、そのためにどんな人たちに声をかけたいのかということを整理することが出来た。

また他支部の活動や現状をお互いが知る機会となり、支部を超えて協力していく必要があること、地区としてバックアップしていく必要があることに気づくことが出来た。

令和元年度の意見を踏まえて具体的にどのように動いていくかということについては今後引き続き話し合いを行う。

## 増えています！誰もが集えるコミュニティカフェ

地域の暮らしを話す会では、「地域の人たちが気楽に集える場」「互いに顔見知りになる機会」の必要性を求める意見が多くでていました。また、「町会館の有効活用」「町会について知る機会」の必要性をみとめる声もあがっています。このような声に対する解決策の一つとして、カフェ活動が広がりを見せてきています。

## コミュニティカフェのポイント&amp;メリット

①定期的を開催している	その日にいけば、誰かに会える、という安心感。閉じこもり防止につながる。
②誰でも参加可能	互いに顔見知りになる機会になる。
③自由に入退室可能	自分のペースで参加できる。(体調や都合にあわせて参加できる)
④自由に話ができる	困りごとの発見や支援の情報提供がされたり、新たな企画のアイデアが生まれたりする。
⑤身近な場所で開催	地域内にある資源の有効活用、地域への愛着をうむ

## 地区福祉委員会が行っているカフェ型活動（令和元年5月現在）

実施地区	場所	開催日時
一小地区 松原団地住宅「ふれあい喫茶」	松原住宅集会所	毎週火・木・土 9:00~12:00
三小地区「旭町カフェ」	旭町会館	毎月第3木曜日 13:00~15:00
日新地区「上瓦屋ラウンジ」	上瓦屋町会館	毎週水曜日 13:00~16:00
一小地区「サロンド松原」	松原町会館	毎月第1・3日曜日 10:00~12:00
佐野台地区「西佐野台げんきカフェ」	西佐野台町会館	毎月第3土曜日 13:30~15:30
中央地区「松風台サロン」	松風台自治会館	毎月第2金曜日 15:00~17:00
佐野台地区「南泉ヶ丘よりみちカフェ」	南泉ヶ丘町会館	毎週木曜日(第2週除く) 13:00~15:00
中央地区「なかまちカフェ」	中町町会館	毎月第3水曜日 10:00~12:00
長滝地区「新長滝カフェ」	長滝住宅集会所	毎月第3土曜日もしくは第3日曜日 9:00~11:30
一小地区「西本町カフェ」	西本町町会館	毎月第3日曜日 10:00~12:00
日根野地区「西上カフェ」	西上町会館	毎月第2水曜日 13:30~15:30
未広地区 東羽倉崎自治会・東羽倉崎「おしゃべりカフェ」	東羽倉崎自治会集会所	毎月第4金曜日 11:30~13:30
未広地区 羽倉崎上町「スマイルカフェ」	羽倉崎上町会館	毎月第2金曜日 13:30~15:30
三小地区「しんまち茶論」	新町会館	毎週水曜日 10:00~12:00
日根野地区「野々地蔵カフェ」	野々地蔵会館	奇数月第4木曜日 13:00~15:00

その他、これまでの「地域の暮らしを話す会 実施報告書」に掲載した事例

平成 26 年度 実施報告書	買物支援の取り組みが動いた事例
	成年後見に関する取り組みを後押しした事例
平成 27 年度 実施報告書	長滝中ノ番子育てサロンの設立
	旭町カフェの設立
	町会加入を促進するための上之郷地区福祉委員会の取り組み 買物支援の取り組みが動いた事例（27年度の取り組み加筆版）
平成 28 年度 実施報告書	中町カフェの設立まで
	樫井東自主防災会の設立と防災訓練の実施まで
平成 29 年度 実施報告書	西上カフェの設立まで
	PDCA サイクルを取り入れた災害に強いまちづくりに向けた取 り組み【長滝地区】
	泉陽ヶ丘支部福祉委員会の取り組み
平成 30 年度 実施報告書	土丸支部福祉委員会の花見大会の取り組み
	平成 30 年台風 21 号被害の経験を今後活かすために

事例の詳細は、それぞれの年度の報告書をご覧ください  
(泉佐野市社協ホームページに PDF 版を掲載しています)

<https://izumisanoshakyo.or.jp/>

ミニコラム

社協の地区担当者の役割

泉佐野市社会福祉協議会では、地区福祉委員会の活動を支援する「地区担当職員」を配置しています（コミュニティソーシャルワーカー“CSW”に対してコミュニティワーカー“CoW”と呼ばれることもあります）。社会福祉分野における援助技法における、地域社会に対する支援技法（コミュニティワーク）を用いながら、地区福祉委員会等の地域組織の支援を行っています。

泉佐野市社協における地区担当者の役割・機能

- ① 組織の運営支援…会議の進め方や資料の作成などの助言や支援
- ② 地域福祉活動の進め方に関する助言・支援  
…運営の助言や、他地域の活動見学の調整など
- ③ 担当地区内の社会資源の把握と周知  
…サロン活動の紹介（小地域ネットワーク活動報告集会等での発表の場づくり）など
- ④ 地域福祉活動の担い手の養成…ボランティア講座の開催や出張講座の実施など
- ⑤ 活動から発見した福祉課題と専門機関との間の連絡・調整機能  
…ネット対象者の困りごとを発見したボランティアや民生委員に対して専門相談機関を紹介する、地区福祉委員会と福祉施設や企業、行政などが連携できるように間で調整を行う、など

# 各地区ででた意見の詳細

各地区における地域の暮らしを話す会ででた意見  
(ふせんに書かれた意見)を、すべて書き出しました。



## 日新地区地域の暮らしを話す会

日時 : 令和年10月27日(日) 14時00分~15時15分  
場所 : 上瓦屋長生会館  
参加人数 : 31人(上瓦屋7人、泉陽ヶ丘人7人、中庄6人、湊11人)  
テーマ : 『福祉の担い手について』

### 上瓦屋支部

#### 【福祉の担い手について】

うまくいったこと、よかったこと、気になっていること etc.
民生委員の後任が決定
各種団体の連携よく、人が増えた
サロンの充実
青年団があるため災害瓦礫の撤去
後継者不足

#### 【これからについて】

新しくやってみたいこと、変えていきたいこと、工夫していきたいこと etc.
福祉を地域に広める
福祉教育の充実
ボランティア募集を働きかける
公務員で退職した者を優先的に
町内の住民により多くPRすること
自営業の方の参加
子育て世代終了した女性への働きかけ

### 泉陽ヶ丘支部

#### 【福祉の担い手について】

うまくいったこと、良かったこと、気になっていること etc.		
メンバーがよく協力し合っている。		
子どもの行事が少ない。	子どもが少ない。	なぜ集まらないのか？
若い人が少ない。	若いメンバーがほしい。	仕事をしていると難しい。
参加してくれない。福祉委員会での行事のマナー化。	自治会の加入者が少ない。	
ボランティアの人が高齢になっているのが心配。		



住宅内メインストリートの交通量が多い。
高齢者でないと時間的余裕がないので、担い手が集まらない。
福祉委員会に男性の参加者が少ない
新しく居住区ができた

### 【これからについて】

新しくやってみたいこと、変えていきたいこと、工夫していきたいこと etc.
福祉委員教育（心構え）思いやり
まず近隣同士の井戸端会議からはじめようではないか？
自治会役員の中から1名以上（できれば若干名）福祉委員をやってもらう
ボランティアを募集
ちびっこ広場を広く（市への要望）

## 中庄支部

### 【福祉の担い手について】

うまくいったこと、良かったこと、気になっていること etc.
町会と福祉委員会の意見交換を！
町の行事など参加しやすい工夫を！
小さいグループをできるだけ作って何かをする時にはそのグループが寄ればいい
誰がグループをつくるための主になる人になってくれるのか？
班長になった人達が顔を合わす機会を多くするには……どうしたらいい
旧町民・新町民の壁を壊す

### 【これからについて】

新しくやってみたいこと、変えていきたいこと、工夫していきたいこと etc.	
なんでも呼び掛けをする人多く（評議員など）	
小学生・中学生の参加できるだんじり祭り	小学生との交流会
防災など情報の意見交換を多くする様	

## 湊支部

### 【福祉の担い手について】

うまくいったこと、よかったこと、気になっていること etc.
先日のふれあい交流会に参加して、大変よかった
友愛訪問に行っても近頃はデイサービスに行っている方が多い

一人暮らしの誕生月のプレゼントで訪問しても留守（デイサービス他）が多くて渡せない	
福祉に関心あまりない人が多い	地域に対する関心が薄い
民生委員さんが行事の連絡をポストに入れてくれますが一寸声を掛けてほしい！！	
一人の人に役が多くなっている	
仕事が忙しい	
行事が少ない	
顔見知りになる機会 参加する事	
子ども達を参加させる（小・中・高・大）	小学生を利用して喜んでもらっている
幼児を集めるには口コミが一番	
発信力が弱いのか？	
地域の高齢化	ボランティアの高齢化
福祉委員会に入会しやすい方法	

### 【これからについて】

新しくやってみたいこと、変えていきたいこと、工夫していきたいこと etc.
ふれあい交流会などの行事を増やす
支部ではなく校区での実施
福祉行事のPRを企画する/子育てサロン（のち実行）
地域の福祉施設にも参加させる
小学校行事の他に参加できる行事を増やす



## 佐野台地区地域の暮らしを話す会

日時 : 令和元年9月28日(土) 19時30分~20時30分

場所 : 佐野台集会所

参加人数 : 23人(佐野台支部8人、西佐野台1人、東佐野台2人、南泉ヶ丘12人)

テーマ : 『地域住民のつながりと支えあい~みんなで万事に備えよう~』

### 佐野台支部

#### 万事に備えることについて

今、地域で起こっている「万事」ってなんだろう？	
高齢化	役員のなり手がいない
同じ車が路駐	迷惑駐車
新しく入居される方が増えている	近隣の交流が少ない
近隣で入居してきた方(事)知らない	引っ越しが増えた(新しい人が増えた)
近所の方の名前が分からない	防災・減災
犬のふん	

#### 「万事」への現在の取り組みについて

みんなで(個人でも)「できていること」や「うまくいったこと」、「工夫していること」などは??	
高齢の人ができないことは元気な人がする	
近所のこどもへの声掛け	
月1回の掃除顔出しの声掛け	
お知らせ(連絡事項)をエレベーター前に記入して貼り出す	
同年代に話をする	
ごみの分別	
新しい人は自己紹介をする	子供会・育成会 行事に顔を出す
台風に備える	備蓄する(水・食料)
美化運動 ①花づくり ②水やり ③たばこのポイ捨て	
町会内月1回の一斉清掃実行	
中・高生のスケボーについて(町内会)	

## 地域住民のつながりと支え合いについて

暮らし地域のこれからについて今、想うこと、必要だなと感じること、取り組んでみたいことなどは??	
たくさんの方が参加できるイベントを考え、行う	
世代間交流（中学生・高校生・大学生と大人）	
防災に対する住民の意識の向上	
住環境の整備 →特に樹木の枝切り（伐採）	
安全対策（自転車・バイク）	
災害時停電で全てがストップ	連絡を取る方法を考えよう
自主防災の強化	若者の担い手確保に努力をしよう
高齢者がますます多くなっている	何日も顔を見たことがない時がある
個人情報 なにがしか邪魔をしている	
迷惑駐車 ステッカーなど車に貼付実施	
たばこの吸いがらポイ捨てはポスター等で掲示	
スケボー等は学校に連絡 写真撮り ポスター掲示	

## 西佐野台・東佐野台支部

## 万事に備えることについて

今、地域で起こっている「万事」ってなんだろう?
個人情報で安否確認できない
福祉を知らない（老若のギャップ）
防災の対策が必要!
一人暮らしが多い
4町で集まる機会がない
担い手不足 解決する方法を考えてほしい

## 「万事」への現在の取り組みについて

みんなで（個人でも）「できていること」や「うまくいったこと」、「工夫していること」などは??
見守りはできている

## 地域住民のつながりと支え合いについて

暮らし地域のこれからについて今、想うこと、必要だなと感じること、取り組んでみたいことなどは??
それぞれの同じ問題点を集めて話し合えば良い

## 万事に備えることについて

今、地域で起こっている「万事」ってなんだろう？		
少子高齢化	高齢化	
近隣関係の希薄化	あいさつがしづらい	
防災対策△		
担い手不足	協力員の人材が少ない	福祉の人が少ない（協力員＋活動）
地域の活動に参加する人・しない人で差がある（参加しにくい）		
一人暮らしの老人が多い（どの程度）		
高齢者の移動手段が少ない		
避難時、避難所に歩いていけない		
参加したいけれど足が悪くカフェに行くことができない		
昨年の台風被害、直後の被害状況のまとめなどほしかった		

## 「万事」への現在の取り組みについて

みんな（個人でも）「できていること」や「うまくいったこと」、「工夫していること」などは？	
となり近所はまあまあ話が出来てる	声掛けはできている
ご近所の方々と仲良くする	
ボランティアで夜回りをしてる	
町内のごみ拾いをしてる	
カフェには誘い合って来てもらっている	毎週（木）カフェを開いている
高齢者を分担して送迎している	するなといわれる
工夫	

## 地域住民のつながりと支え合いについて

暮らし地域のこれからについて今、想うこと、必要だなと感じること、取り組んでみたいことなどは？
町会・福祉へ若手の参加
見守り・声掛け活動つづける
継続して子ども～お年寄りまで参加できる行事があれば
「町会」福祉への理解してほしい

## 北中地区・地域の暮らしを話す会

日時：令和元年 11 月 9 日（土） 19 時 00 分～20 時 30 分

場所：鶴原町会館

参加人数：35 人（鶴原町 13 名・下瓦屋 10 名・中央住宅 10 人）

テーマ：防災について考える

### 鶴原町

#### 11/3 大防災訓練を振り返って

① うまくいったと思うこと・よかったなと思うことは何ですか？	
高齢者の参加が多かった	避難者の困りごとを聴くことができた
参加者の協力がスムーズだった	2 回目なので町内への説明が楽だった
防災意識が高まっていると感じた	
② しんどかったなと思うこと・課題だなと思うことは何ですか？	
避難者に若い人が少ない	1 人で動けない人の訓練参加が少ない
市の放送が聞こえにくい	隣組の協力
名簿の活用	回覧板を見ていない
一人暮らし高齢者の避難方法	安否確認のタオル出しが少ない
③ 来年の大防災訓練に向けて	
<b>目標『避難訓練の参加者を増やす！』</b>	
【目標達成のために普段から取り組めることは何ですか？】	
回覧板で避難訓練の周知を行う	若者の参加を増やせるよう考える
各隣組で見守る	放送を聞こえやすくするため音響を増やす
ハザードマップを作成する	色関係なく安否確認タオルを使用する

### 下瓦屋

#### 11/3 大防災訓練を振り返って

① うまくいったと思うこと・よかったなと思うことは何ですか？	
子どもの参加が多かった	参加人数が多かった
世代間ふれあいイベント、炊出しの同時開催	各種団体の協力体制
町内の準備が整っていた	DVD の内容が分かりやすかった
参加時の粗品をもらえるのが良い	天気に恵まれ参加者が多かった
避難訓練参加者が昨年より多かった	
きちんと整列して炊出しに並んでいる姿が良かった	



炊出しがおいしかった(焼きそば、豚汁、アルファ米)	
② しんどかったなと思うこと・課題だなと思うことは何ですか？	
放送の聞こえない場所がある	黄色タオルが届いていない家がある
体が不自由な人の避難方法	安否確認タオル掲示の徹底不足
粗品は軽いものが良い(高齢者が困る)	隣組組長への依頼連絡不足
三中以外に避難できる場所の確保	
③ 来年の大防災訓練に向けて	
目標『大防災訓練の参加者を増やしたい！』	
【目標達成のために普段から取り組めることは何ですか？】	
独居老人の救出方法を考える	三中以外の避難場所を見つける
ふれあいイベント、炊出し同時開催の継続	放送設備の改善

## 中央住宅

① うまくいったと思うこと・よかったなと思うことは何ですか？	
安否確認タオルが半分以上出ていた	安否確認タオルかける場所を全棟統一した
安否確認票を作成し確認しやすくした	安否確認が迅速に行われた
② しんどかったなと思うこと・課題だなと思うことは何ですか？	
高齢者が多く要支援者への対応が難しい	安否確認用紙記入方法の説明不足
安否確認の仕方についての説明不足	安否確認の際、階段の上り下りが大変
放送が聞こえづらいところが多い	耳が不自由でサイレンが聞こえづらい
放送設備の点検をしてほしい	放送前に安否確認タオルがかけられていた
高齢者の避難時の移動が心配	各棟に1台車いすを準備できないか
③ 来年の大防災訓練に向けて	
目標『来年5月頃に避難訓練実施！』	
【目標達成のために普段から取り組めることは何ですか？】	
備蓄用の食料・飲料水の確保	ヘルメット、防災頭巾の準備
各棟にハンドマイクを準備	一瞬でふくらむゴムボートを配備
普段から棟ごとの安否確認を行う	皆が訓練の流れを理解できるようにする
年に何回かの団地内訓練を行いたい	高齢者の歩行速度に応じた参集訓練を実施
団地内防災計画を作成し住民で共有	避難訓練と消火器操作訓練を実施

## 三小地区・地域の暮らしを話す会

日時：令和元年 11 月 30 日（土） 10 時 00 分～11 時 30 分

場所：新町会館

参加人数：17 人（旭町 9、新町 4、春日町 4）

テーマ：「地域の絆づくり登録制度」ってなんだろう？

### 新町チーム

① 地域活動を振り返ってみよう！	
〈福祉委員会〉	
活動内容	どういった目的・思いで行っていますか？
個別支援活動	・孤立死を防ぐため
いきいきサロン	・次回も参加したいと思ってもらえるように
世代間交流	・孫世代と交流できる唯一の機会 ・楽しく運動会に参加している ・子どもから元気をもらえる
子育てサロン	・お母さんとの輪(つながり)づくり ・子どもとの輪(つながり)づくり ・子育て時代を懐かしく感じる
コミュニティカフェ	・元気な顔を見せてもらえるだけで良い ・参加者が決まってきたので新しい人を増やしたい ・もっと多数の人に参加してもらうにはどうしたらよいか？
見守り隊	・子どもが事件に巻き込まれるのを絶対に防ぐ ・子どもが笑顔で安心、安全に通学ができるように ・朝の挨拶を全員にできるように頑張っている ・交差点(天寿前)の交通量が多く危ない
その他	・新春のつどいででの交流 ・自分の目で見たい買い物をしたいとの希望が多い
〈町会・自主防災組織など〉	
活動内容	どういった目的・思いで行っていますか？
	・高齢者だけの各種団体の若返り方法とは？ ・若い層の担い手確保をどうしたらよいか？
② 比べてみよう！（地域活動の目的と絆登録制度の目的を比べた共通点）	
※どちらも地域とのつながりづくりを目的にしているという点では共通していると思うが、あえて意見は書き出さなかった。	
③ 感想・気づいたこと	

- ・高齢者が自由に外出ができるように、市からタクシー券などを出してもらえないか
- ・新しく建ったワンルームマンション入居者の顔が分からず、接点がない
- ・若い人がリーダーとなり地域活動を続けてもらいたい
- ・春日通り商店街を活性化させたい

## 旭町チーム

### ④ 地域活動を振り返ってみよう！

#### 〈福祉委員会〉

活動内容	どういった目的・思いで行っていますか？
個別支援活動	・高齢者の見守り
いきいきサロン	・高齢者の見守りと交流
世代間交流	・子どもとの交流 ・第三小学校に通う児童たちの交流の場
子育てサロン	・未就学の子どもと、その親との交流
コミュニティカフェ	・地域の方との交流 ・高齢者、子どもとの交流
見守り隊	・児童の安全を守る
その他	・新春のつどいなど(三小地区の一員として取り組んでいる)

#### 〈町会・自主防災組織など〉

活動内容	どういった目的・思いで行っていますか？
・三小地区防災会に連動	・三小地区防災会の一員として活動に取り組んでいる
・町内危険個所の改善	・障がい者に優しい町会館(避難所などになった場合)

### ⑤ 比べてみよう！(地域活動の目的と絆登録制度の目的を比べた共通点)

- |           |              |
|-----------|--------------|
| ・高齢者の見守り  | ・高齢者の見守りと交流  |
| ・地域の方との交流 | ・高齢者、子どもとの交流 |

### ⑥ 感想・気づいたこと

- ・絆の名簿に死去、転居、元気な方の名前が入っていた
- ・見守り高齢者の半数が絆の申請をしていた
- ・絆づくりは良いことだとは思いますが、名簿に載っている人だけが対象というところが...
- ・支援者になり手が無い

① 地域活動を振り返ってみよう！	
〈福祉委員会〉	
活動内容	どういった目的・思いで行っていますか？
個別支援活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認</li> <li>・月2回の声かけ</li> <li>・要支援者に変わりがないか確認が必要</li> </ul>
いきいきサロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の親睦</li> <li>・地域の人とのコミュニケーションを図る</li> </ul>
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三小学校の児童と昔あそび</li> <li>・ふれあい給食(偏食を防ぐ、時間内に食べ終わられるように)</li> </ul>
子育てサロン	
コミュニティカフェ	
見守り隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子どもたちの安全な登下校のため</li> <li>・児童がいつも元気で通学ができるかどうか</li> </ul>
その他	
〈町会・自主防災組織など〉	
活動内容	どういった目的・思いで行っていますか？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の清掃活動(月1回)</li> <li>・避難指示が出た時、危険エリアの人に声かけ</li> <li>・年1回の防災訓練</li> <li>・三小地区防災会議(月2回)</li> </ul>	
② 比べてみよう！(地域活動の目的と絆登録制度の目的を比べた共通点)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認</li> <li>・月2回の声かけ</li> <li>・要支援者に変わりがないか確認が必要</li> <li>・各自の親睦</li> <li>・年1回の防災訓練</li> <li>・三小地区防災会議(月2回)</li> <li>・要支援者に変わりがないか確認が必要</li> <li>・地域の人とコミュニケーションを図る</li> </ul>	
③ 感想・気づいたこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同意はとっていても、気持ちは助けてほしいのでクレームは出ないのか</li> <li>・地域活動と内容は同じことだが、契約書に抵抗を感じる</li> </ul>	

## 末広地区・地域の暮らしを話す会

日時：令和元年 12 月 12 日（木） 19 時 00 分～20 時 30 分

場所：東羽倉崎南町集会所

参加人数：25 人（東羽倉崎南町 6、東羽倉崎町 0、長滝第一住宅 4、新安松 6、東羽倉崎自治会 3、羽倉崎上町 6）

テーマ：災害から普段の小ネットの取り組みを振り返ろう

### 東羽倉崎南町支部

大項目：個別支援活動について		
設問	自己評価（4段階）	設問について出た意見
災害の時だけでなく、声をかけあえているか。	×	・普段から挨拶する。
日頃からの呼びかけ、備え 等	×	・全体に高齢でもあり、他社との交流を避けている。
となり近所だけでも声をかけあえているか。	○	・住民全体が災害に対しての考え方が変わってきている。
全世帯を訪問し、知り合いになれているか。	△	・人手不足
大項目：個別支援活動について → 来年度の目標		
・防災/防犯等の組織ができた。そこからでも始めていく。		
大項目：グループ支援活動について		
設問	自己評価（4段階）	設問について出た意見
ご近所の助け合いを行えているか。	○	・人によって意識の差がありすぎて難しい。
近隣のふれあいを大切にされているか。	○	・一人ひとりが集団で暮らしている。
お互い様の心で絆を深めれているか。	○	・「自分が困っていることは他の人も困っているのでは？」と考える。 ・住民との挨拶を大切にしてい
近所の方との交流を大切にしていけているか。	△	・各棟ごとに意識を持つこと。
大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標		
・自治会/福祉委員会/防災組織等の各々意識向上。		
大項目：広報活動等について		
設問	自己評価（4段階）	設問について出た意見
災害時に若手による自主的な協力があるのか。	×	・子どもが参加できる行事があれば若手が集まりやすいと思う。 ・高齢者が多い為、若い方は参加を敬遠されると思う。 ・交流できる行事など取り入れて接する機会を作る。

町内会で防災ボランティアを募集しているのか。	△	・来年度から。
一人暮らしの方に対して日頃から気をつけておく	○	・常日頃からの情報共有が必要と思う。
ハザードマップの活用をしているか。	—	・府や市のハザードマップを活用していく。
連絡網を活用できているか。	△	・来年度から。
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
・住民参加型のイベント等があればいいかもしれない。		

### 長滝第一住宅支部

<b>大項目：個別支援活動について</b>		
設問	自己評価（4段階）	設問について出た意見
災害の時だけでなく、声をかけあえているか。	○	
日頃からの呼びかけ、備え 等	○	
となり近所だけでも声をかけあえているか。	○	
全世帯を訪問し、知り合いになれているか。	△	・行事の都度、声をかける。
<b>大項目：個別支援活動について → 来年度の目標</b>		
・住民同士が仲良く笑顔で話し合える。		
<b>大項目：グループ支援活動について</b>		
設問	自己評価（4段階）	設問について出た意見
ご近所の助け合いを行えているか。	×	
近隣のふれあいを大切にされているか。	△	・時期的に外に出ている人が少ないので、見かけたら声をかける。
お互い様の心で絆を深めれているか。	○	
近所の方との交流を大切にしていけているか。	○	
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
・地域の子どもは地域の大人が責任をもって守っていく。		
<b>大項目：広報活動等について</b>		
設問	自己評価（4段階）	設問について出た意見
災害時に若手による自主的な協力があるのか。	×	
町内会で防災ボランティア	○	



を募集しているのか。		
一人暮らしの方に対して日頃から気をつけておく	◎	・民生委員及び協力員と共に訪問する。
ハザードマップの活用をしているか。	×	・役員名簿を活用して訪問デイを設けておく。
連絡網を活用できているか。	×	・個人情報に配慮して入居者名簿を活用していく。
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
・若い入居者に行事参加を促していく。		

## 新安松支部

<b>大項目：個別支援活動について</b>		
設問	自己評価（４段階）	設問について出た意見
災害の時だけでなく、声をかけあえているか。	◎	・安否確認訪問をしている。
日頃からの呼びかけ、備え 等	◎	・災害後も被災した家の状況を見回りしている。 ・町会の防災倉庫に投光器/リヤカー/車いす等を備えている。
となり近所だけでも声をかけあえているか。	○	・災害後は声をかけあうようになった。
全世帯を訪問し、知り合いになれているか。	×	・全世帯はできない。
<b>大項目：個別支援活動について → 来年度の目標</b>		
・町内の防災倉庫を整備する。		
<b>大項目：グループ支援活動について</b>		
設問	自己評価（４段階）	設問について出た意見
ご近所の助け合いを行えているか。	○	・挨拶程度であり、それ以上はなし。
近隣のふれあいを大切にされているか。	○	・気持ちや思いをみんな持っていないと思うが、話し合い不足に思う。
お互い様の心で絆を深められているか。	○	・助け合いはしているものの、逆に飛来物がきっかけで関係が悪化していることもある。
近所の方との交流を大切にしていけているか。	○	・日頃から管理をちゃんとする。
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
・班単位でこのような会合は必要と思われる。		
<b>大項目：広報活動等について</b>		

設問	自己評価（４段階）	設問について出た意見
災害時に若手による自主的な協力があるのか。	×	・自己中心的な人が多い。
町内会で防災ボランティアを募集しているのか。	×	・組織はあるものの、具体的な行動は無い。
一人暮らしの方に対して日頃から気をつけておく	◎	
ハザードマップの活用をしているか。	△	・そもそも町内で危険個所が少ない。
連絡網を活用できているか。	○	・防災時の連絡体制はできている。
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内で一時避難場所を設ける。</li> <li>・避難経路の確保の為に、田んぼの持ち主に事前に声を掛けておく。</li> </ul>		

## 東羽倉崎自治会支部

大項目：個別支援活動について		
設問	自己評価（４段階）	設問について出た意見
災害の時だけでなく、声をかけあえているか。	◎	・顔を合わせたら声をかけるようにしている。
日頃からの呼びかけ、備え 等	○	
となり近所だけでも声をかけあえているか。	◎	
全世帯を訪問し、知り合いになれているか。	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全世帯は無理、高齢者が多く玄関まで出て来ることが大変な人もいる。</li> <li>・留守宅が多く、無理だと思うがなるべくそうしたい。</li> </ul>
<b>大項目：個別支援活動について → 来年度の目標</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問活動の今以上の人数をする。</li> </ul>		
大項目：グループ支援活動について		
設問	自己評価（４段階）	設問について出た意見
ご近所の助け合いを行えているか。	◎	・自治会/長生会/福祉委員会活動の繋がりで助け合う様にしている。
近隣のふれあいを大切にされているか。	○	・今年の台風時に両隣に声をかける。
お互い様の心で絆を深められているか。	◎	・月の1回清掃、生協の買い物、おしゃべりカフェへの参加でふれあっている。
近所の方との交流を	◎	・お茶を飲んだり、買い物へ行く

大切にしていけているか。		ときに用事が無いかを声かけあえている。 ・病院等の出先でよく顔を合わすので、声をかけあえている。
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長生会や他のグループ活動も努めたい。</li> <li>・グループ支援活動の内容を向上し、より参加してもらうようにしていく。</li> </ul>		
<b>大項目：広報活動等について</b>		
設問	自己評価（４段階）	設問について出た意見
災害時に若手による自主的な協力があるのか。	×	・若手による協力を得ていくことが難しい。
町内会で防災ボランティアを募集しているのか。	×	・ボランティアのお誘いは高齢化しているので無理。
一人暮らしの方に対して日頃から気をつけておく	◎	・コープの買い物便があるので、その時に安否確認する。 ・外で会ったとき等、近況を尋ねたりしている。
ハザードマップの活用をしているか。	×	・個人情報の兼ね合いで、福祉委員会（協力員）より連絡ができるようにしている。
連絡網を活用できているか。	△	・必要であるが電話番号を知られたくない人もいるので、作成は不可。
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識の向上と担い手づくり</li> <li>・若手の方の意見を聞き、担い手を確保していきたい。</li> </ul>		

## 羽倉崎上町支部

<b>大項目：個別支援活動について</b>		
設問	自己評価（４段階）	設問について出た意見
災害の時だけでなく、声をかけあえているか。	◎	・個別支援活動の頻度を上げている。
日頃からの呼びかけ、備え 等	◎	・朝の挨拶、夕の挨拶を実施。
となり近所だけでも声をかけあえているか。	△	・できている隣組とわからない隣組がある。
全世帯を訪問し、知り合いになれているか。	○	
<b>大項目：個別支援活動について → 来年度の目標</b>		
—		
<b>大項目：グループ支援活動について</b>		
設問	自己評価（４段階）	設問について出た意見

ご近所の助け合いを行えているか。	△	・子ども会の発展をしていく。
近隣のふれあいを大切にされているか。	○	・集会所のPR
お互い様の心で絆を深められているか。	△	
近所の方との交流を大切にしているか。	△	・回覧板の有効活用
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
・町内活動の全体アンケートの実施。		
<b>大項目：広報活動等について</b>		
設問	自己評価（4段階）	設問について出た意見
災害時に若手による自主的な協力があるのか。	△	・子ども会と長生会との間の壮年層団体を作る。
町内会で防災ボランティアを募集しているのか。	×	
一人暮らしの方に対して日頃から気をつけておく	◎	
ハザードマップの活用をしているか。	×	・有効利用できるマップがない。
連絡網を活用できているか。	○	・福祉委員会の連絡網がある。
<b>大項目：グループ支援活動について → 来年度の目標</b>		
・町内全域の合同清掃活動		



## 一小地区・地域の暮らしを話す会

日時：令和2年2月21日（金） 19時00分～20時30分

場所：西本町会館

参加人数：40人（松原団地住宅4／野出町6／西本町6／羽倉崎6  
笠松町2／元町5／本町5／松原6）

テーマ：担い手の発掘・育成について

### 松原団地住宅支部

これまでの活動を振り返って	
現状で心配だと思った事・しんどかった事	
どんどん皆が高齢化になっていった。	次世代の担い手づくり。
それぞれの考え方が違うにも拘らず、それらをまとめることがしんどかった。	
5～10年後、心配だと思う事・課題だと思う事	
次世代の担い手づくり。	
団地が建って約15年、住人の高齢化が進み心配される。	
1人暮らし世帯が多くなり、見守り対象者件数が多くなる。	
意識していること事・よかった事	
地域の絆が生まれる。	新しい人に声をかけている。
若い人たちがもう少し奮起して欲しい。	行事の参加の声掛け。
高齢者の方々に外出を促すきっかけ作りのためにイベントを企画。	
近所さん同士お互いに声を掛けして誘い合う仕組みづくり。	
これからの取り組みについて	
改善したいこと、発展させたいこと、継続させたい事、新しく考えていきたい事	
次世代を担う方へ自治会に意識してもらうこと。	
若い人や新しい人に声をかけて引き込む。	
集会所へ参加者を集めれるイベントは継続していくこと。	

### 野出町支部

これまでの活動を振り返って	
現状で心配だと思った事・しんどかった事	
町内の人口減少に伴い町会員も減少。次期役員選出が困難。	
夏祭り活動の事故・怪我、未成年者の飲酒。	
民泊の増加による、地域間の希薄化。	
5～10年後、心配だと思う事・課題だと思う事	
福祉委員の高齢化。	子どもの数の減少。

隣組の活動の変化。
空き地の増加。そこにワンルームマンションが建設され、住人像がわからない。
<b>意識していること事・よかった事</b>
祭りをきっかけに町会・長生会・青年団・子供会といった各団体に団結される。
祭りのときに各団体が準備や掃除等の協力をしてくれること。
顔見知りになれること。
<b>これからの取り組みについて</b>
<b>改善したいこと、発展させたいこと、継続させたい事、新しく考えていきたい事</b>
体操やさわやか交流会、長生会活動など今後も参加者多く続けていきたい。
町会に入って貰えるようにしたい。

## 西本町支部

<b>これまでの活動を振り返って</b>	
<b>現状で心配だと思った事・しんどかった事</b>	
新しい協力員さんが見つからない。	役割分担できず、協力員全員で活動。
参加してくれる人が同じメンバー。	食中毒の心配で、メニュー等配慮が必要。
<b>5～10年後、心配だと思う事・課題だと思う事</b>	
子どもの習い事が増え、参加できない。	認知症の方のサポート体制。
親の参加意欲が少ない。	老々介護
<b>意識していること事・よかった事</b>	
協力員も参加者も楽しむ。	笑顔で帰られる。
参加者がいつも楽しみにしてくれている。	
<b>これからの取り組みについて</b>	
<b>改善したいこと、発展させたいこと、継続させたい事、新しく考えていきたい事</b>	
協力員を増やす。	認知症サポーターの育成。
会館を開放し、利用できやすくする。	町のイベントに参加意欲
元気塾、カフェ、サロン、カラオケ等といった既存の活動は継続していく。	
特に会館から遠い方には声掛けし参加を促す。	

## 羽倉崎支部

<b>これまでの活動を振り返って</b>	
<b>現状で心配だと思った事・しんどかった事</b>	
仕事との両立が難しかった。	地域のコミュニティの消極化。
災害の後始末。	役職の簡素化。
プライベートとの日程のバッティングを調整する苦労。	



<b>5～10年後、心配だと思ふ事・課題だと思ふ事</b>	
協力員の高齢化。	毎月の市報配布が大変。
町の活動にだんだんと無関心になっていくこと。	
<b>意識していること事・よかった事</b>	
世代間交流がうまく出来た。	元気塾の参加者が多い。
一人暮らし高齢者の日頃の様子を気にしている事。	
ディスコン活動で月4回開催できている。健康寿命が延びていると思う。	
登下校時の見守り活動を通して、子ども達と交流することができた。	
<b>これからの取り組みについて</b>	
<b>改善したいこと、発展させたいこと、継続させたい事、新しく考えていきたい事</b>	
子ども会役員やだんじり関係者を福祉委員会に加入してもらう。	
会館の掃除だけでも若い人（子ども会、だんじり）に手伝ってもらう仕組み。	
町会館のメンテナンスを市で担って欲しい。	
高齢化になっていくことで、特に長生会の活動を積極的に進めていく。	
若い人が協力員に入って貰いたい	現状維持。
独居老人のフォロー。	ディスコンを長く続けていきたい。

## 笠松町支部

<b>これまでの活動を振り返って</b>	
<b>現状で心配だと思つた事・しんどかつた事</b>	
人材不足。	担い手の年齢が80歳前後。
<b>5～10年後、心配だと思ふ事・課題だと思ふ事</b>	
人材不足。	独居増加で見守りが大変。
<b>意識していること事・よかった事</b>	
若い人達に関心を向けてもらう事。	協力者へ労っている。
<b>これからの取り組みについて</b>	
<b>改善したいこと、発展させたいこと、継続させたい事、新しく考えていきたい事</b>	
新しい人へのフォローをしていく事。	ボランティアの人数を増やす事。
皆の意見を出して貰う事。	福祉活動に入りにくい雰囲気がある。
（麻雀）サロンを開きたい。	元気塾、月に2回20～30名出席。
今行っている、ディスコン・カラオケは続けていきたい。	

## 元町支部

これまでの活動を振り返って	
現状で心配だと思った事・しんどかった事	
若手の役員がいない。	マンション等が増えて会員が増えない。
町会の運営が難しい。	各種団体が休止している。
高齢化に伴い、役員を同じ人が担い続けている。	
町会員になりたがらない。誰かがしてくれると思っている。	
5～10年後、心配だと思う事・課題だと思う事	
年長者がいなくなり、今後の役員の担い手がいない。	
定年後も仕事を続けるため、後継者がいない。	
意識していること事・よかった事	
各種団体と合同の行事をしている。長生会等が協力してくれる。	
行事の参加についても各種団体が協力して運営している。	
これからの取り組みについて	
改善したいこと、発展させたいこと、継続させたい事、新しく考えていきたい事	
各町会の役員が少ないので、一小地区で合併しての運営もしたい。	
退職した人に声をかけていく。	

## 本町支部

これまでの活動を振り返って	
現状で心配だと思った事・しんどかった事	
若い方の加入が少ない。	町会人数の減少。
高齢者が少なくなってきた。	雨天時に活動内容を変更したこと。
5～10年後、心配だと思う事・課題だと思う事	
「私達を世話する人がいるのか？」	若い人の入会
意識していること事・よかった事	
知り合いが増えたこと。	町内のことがわかってきた。
これからの取り組みについて	
改善したいこと、発展させたいこと、継続させたい事、新しく考えていきたい事	
福祉委員会の活動は継続したい。(1月:ぜんざい、4月:花見、10月:松茸、誕生日…)	
子どもと老人との交流。	

<b>これまでの活動を振り返って</b>	
<b>現状で心配だと思った事・しんどかった事</b>	
話し合いの場所（松原町会館）が遠い。	全体的に高齢化している。
活動がマンネリ化している。	福祉委員会に無関心な人がいてる。
誘いに行っても働きに出ている家が多い。	次の世代の担い手がいない。
<b>5～10年後、心配だと思う事・課題だと思う事</b>	
「今が精いっぱいです！」	
<b>意識していること事・よかった事</b>	
納涼大会・だんじりといった行事で若い人がよく集まりやすい。	
町の行事のときは子ども会が動いてくれる。	
お年寄りがいたら声掛けをしている。	
<b>これからの取り組みについて</b>	
<b>改善したいこと、発展させたいこと、継続させたい事、新しく考えていきたい事</b>	
人がたくさん集まる催しを考える。	
子どもと高齢者がスポーツで繋がりたい。Ex.ソフトボールやディスコンなど…	



## 長滝地区・地域の暮らしを話す会

日時：令和元年 7月 24日（水） 15時 00分～16時 30分

令和元年 9月 25日（水） 14時 00分～16時 00分

令和元年 11月 27日（水） 15時 00分～16時 30分

場所：長滝第一町内会館

参加人数：各回約 43名

テーマ：長滝地区福祉委員会の小ネット活動の対象者の見直しについて

### 令和元年 7月 24日（水）の記録

#### 【個別支援活動の対象者について】

<b>今とても気になる人</b>	
①高齢者・・・70歳と75歳を基準にするという意見が多い	
高齢者世帯	老々介護
認知症	ひきこもり
子どもと同居でも相談出来ない方	
②近所づきあいのない方	
話し相手のいない方	昼にひとりで家にいる方
最近お見かけしない方	家から出にくい方
消極的な方	
③一人暮らしの方	
男性の一人暮らしの方	家族が居ても昼一人暮らしの方（日中独居）
84歳の一人暮らしの女性の方	
<b>2～3年後気になってくる人</b>	
①高齢者	
（80歳以上）年1回声かけして状態を見て必要な人は月1回訪問して様子を見ていく	
70歳以上の独居高齢者に絞る	高齢者世帯
②一人暮らしではないがなんらかの理由で一人になっている方	
子どもと住んでいるが出張がちで一人が多い75歳以上の方	
同居しているがすれ違って一人暮らしの方	
子どもと同居しているが会話がないう方	
③その他	
SOSを出している方	介護疲れの方
家族に障がい者がいる方	趣味のない方
親族が来ている方や制度につながっている方で病院に通っている方	
去年の台風で住所が変わってしまい親しいご近所の方と離れてしまっている。身内の方が誰もいないので心配	

【福祉委員会の活動について】

<b>今とても気になること</b>	
①長滝住宅の問題	
協力してくれる方を見つける事	
②話し合いの必要性	
関係者が集まって地域の話をするのが大事	
③サロンへの誘い方	
(対象者)	
最近お見かけしない方。サロンに来られる様にお誘いに行きましたが、出てこられない。鍵はかかっていたいなかったが親しくないので勝手に開けて入るわけには。	
男性の一人暮らしの方（人との関わりが少ない）	歩きにくい方（月に数回訪問して話しをする位しか出来ない）
家から出にくい方	今まで来てくれてない方
(方法)	
本人に聞いて改善していく	来たい人を増やすようにする
規制をとる。しびりが厳しい。	
④担い手確保について	
(方法)	
回覧でもっと広めていく	
<b>2～3年後気になってくること</b>	
①担い手について	
今後 65 歳以上の人が増えるので見守りの人数が足りなくなるのではと思う。	
②サロンについて	
(内容)	
気になる方の興味のある催しを考える	
(場所)	
住んでいる地域によって自由に集まれる場所を作ると人数を把握	
③長滝住宅について	
将来サロンも合同でと思いますが、まず協力員さんを考えていかなければいけない	

# つながりを広げよう

## 【これまでの会議の振り返り（キーワードの抜粋）】

### <担い手について>

- ・若い世代にもつながりの意識を持ってほしい
- ・協力してくれる人を見つける
- ・担い手確保のための回覧でもっと広めていく
- ・町会加入者が増えたらいいなあ…

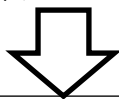
### <対象者について>

- ・認知症、老老介護、日中独居、高齢者世帯
- ・男性
- ・家族に障がい者がいる人
- ・ひきこもり、消極的な人

### <活動について>

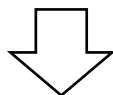
- ・気になる人の興味のある催しを考える（相手の立場に立った企画）
- ・規制をとる。しびりが厳しい
- ・今まで（福祉委員会の活動に）来たいが来れなかった人が来れるようにしたい

つまり・・・



今まで福祉委員会の活動に関わりが少なかった人たちとの  
つながりを作っていきたい

達成することで得られる効果



①活動が活発になる、②担い手も増える



## 令和元年 11 月 27 日（水）の記録

### 【今の小ネット活動の対象者はどうなっていますか？】

<b>①今の長滝地区福祉委員会の小ネットの条件は？</b>	
ネット対象者＝サロン対象者	
独居高齢者かつ町内に親族がいない人（例外あり）	
<b>②どうしてその条件なのか？</b>	
孤立しやすい人	交流が少ない人
孤独死の可能性のある人	早期発見と安否確認が必要な人

### 【見守り訪問とふれあいサロン「かけはし」の対象者の違いは？】

<b>①今の見守り訪問のみの対象者ってどんな人？</b>	
サロンに来たくない人（例えば男性の方）	
<b>②サロンに来にくい理由として考えられること</b>	
女性ばかりやから行きにくいのでは	日が合わない
サロンの内容（手芸・カラオケ）は男性行きにくい	
<b>③今できる工夫</b>	
協力員の層（今は対象者より多い）	かけはしの時に別の部屋、一部を使いサロンの内容を変えてやってみてはどうか
<b>④訪問に行かないとあかん人ってどんな人？より訪問活動が必要な人ってどんな人？</b>	
体が悪い人	人に興味がない・交流を拒んでいる
特別な事情（オートロック・マンション）	
<b>⑤サロンに来てほしい人ってどんな人？</b>	
お話ししたい人	場に慣れている方
高齢者世帯	老々介護
話を聞いてほしい人	日中独居の人（家族と一緒に住んでる・家族が隣に住んでる）
<b>⑥どうしたらサロンに来てくれるか？</b>	
必要とされている、役割があると来てくれる	迎えにいったら来てくれそう
元気な方には手伝ってよ！というと意外と来てくれるのでは	

### 【見守り訪問じゃないとできないことは？】

話しを一对一で聞く	健康ですか？困ってることはないですか？と話を聞ける
安否確認と個別相談	

## 【サロンじゃないとできないことは？】

お友達と話す	気軽に来れる
話をたくさん出来る・声かけ	つながり・顔見知りの関係（出会い）
若い人（協力員さん）と話せて嬉しい	役員さんと会えるのもいいのでは？
対象の方、今少ないのでたくさん来てほしい	
<b>①今できる工夫</b>	
時間の設定	座り方（対象者との間に協力員が入る方がいいのでは）
<b>②もしかして・・・</b>	
お世話されたくないという思い、かけはしに対して偏見もあるのでは？ （年寄りの集まる場所）	
長滝に引っ越してきた人は来にくいのでは？（昔から長滝の人は来やすいが）	



## 上之郷地区・地域の暮らしを話す会

日時 : 令和元年 10 月 21 日 (月) 19 時 00 分~20 時 30 分  
 場所 : 上之郷小学校 多目的教室  
 参加者 : 18 名 (母山 2 名 / 机場 2 名 / 女形 1 名 / 上村 3 名 / 中村 6 名 / 下村 3 名 / 郷田 1 名)  
 テーマ : 安心して暮らせる地域の支え合い

### 母山・女形支部

<b>支部活動をする中で感じる効果や喜ばれた声、地域のよさは？</b>	
1 か月に 1 回、みんなの顔が見れて話ができうれしい (と言われる)	
ラジオ体操の 2 日間、パン、お菓子、飲み物を高齢者に配布していましたが、大変喜ばれています	
日頃、会えない人に会えること	
<b>支部活動における課題や支部活動を通して見えてくる地域の課題は？</b>	
新しい人の参加がない (サロンに) 声をかけても「まだ早い」(と言われる)	
うわさ話になるのが怖い (のでサロンに行きたくないという声がある)	
家の外を歩いている人がおらず、話し相手がいない	
(災害時等に) 要支援者の在住する村と、(その要支援者を) 支援する (人が住んでいる) 村との相違。(=村同士の連絡や連携ができない)	

### 机場・上村支部

<b>支部活動をする中で感じる効果や喜ばれた声、地域のよさは？</b>	
来られた人はみんな楽しくされている	次回を楽しみにされている
(サロンで) 脚と口を使って健康寿命が延びる	(サロンに) 出てきてしゃべることではない
高齢者同士の連絡が密に取れている	高齢者の孤立が少ない
<b>支部活動における課題や支部活動を通して見えてくる地域の課題は？</b>	
もっと多くの人が集まってくれるように何らかの工夫が必要	
自主的にボランティアしてくれる人が増えるといいな	
毎回同じ人が参加していたり、女性に参加者が偏っていたりする	
足腰の弱い人の参加が難しい	施設のバリアフリー化を希望する
<b>事例紹介で参考になった点や取り入れてみたいポイントは？</b>	
こんなことやってみたいと思うことは？	
参加者の高齢者が主役になって発信する催し	高齢者が受け身にならないもの (料理を教える、お芝居をする、体験を話す等)

⇒ 年長者が若者に知識、技術を伝えていくという本来の流れ
おやしカフェが面白い 男性はコーヒー好きが多いので魅力がある
高齢者がもつ不要物品（衣類・生活用品等）を再利用し、若い世代に提供 手芸、バザー等

## 中村支部

支部活動をする中で感じる効果や喜ばれた声、地域のよさは？	
（サロンを）楽しみにされている人もいる	
支部活動における課題や支部活動を通して見えてくる地域の課題は？	
参加者が少ない	一緒に行くとおだちが少ない
事例紹介で参考になった点や取り入れてみたいポイントは？ こんなことやってみたいなと思うことは？	
カフェをする ←高齢者に役割を持ってもらう	
コミュニティセンターで週1回開く（9:00~15:00くらい） 映画上映、カラオケ、ゲームなど	
上之郷全体でやる	近いところがいい
ふらっと来て好きな時に帰る	障がい者施設で作ったお菓子を安く買ってくる
昔は4~5人の井戸端会議があった→できれば大人数のほうが良い	
中村でやって他の支部の人も来ていいくらいで始める	

## 下村・郷田支部

事例紹介で参考になった点や取り入れてみたいポイントは？ こんなことやってみたいなと思うことは？	
コミュニティカフェの取り組みをしても、参加者が限定され、新参加者が参加しにくくなってしまわないか	
（サロンやカフェを）男性参加型に	ポスターで新規参加者を呼び掛けている
会場は座敷より椅子に変更したほうがよい	孫と一緒に（カフェに参加してもらう）

## 大土地区・地域の暮らしを話す会

日時 : 令和元年 11 月 23 日 (土) 19 時 10 分~20 時 30 分  
 場所 : 大木小学校 交流棟  
 参加人数 : 39 名 (大木 23 名/土丸 16 名)  
 テーマ : 住民が集う場づくりについて  
           大木支部 コミュニティカフェについて検討  
           土丸支部 11 月 10 日「シルバー元気かい」についての振り返り

### 大木支部

カフェについての情報提供を聞いて「いいな」と思ったポイントやできそうなこと
事前の準備がそれほどいらず比較的気軽に取り組みそう
元気塾の参加者は現在 20 名以上来ているので、参加者が見込める
元気塾の後でできるように、セルフサービスのお茶、お菓子などを用意する
時間帯をモーニングにしてみんなで朝ドラを見ながら行う
とりあえず元気塾の後に 1 回やってみて、そこで参加者の意見聞いてみたら？ ⇒1 月の元気塾の後に開催 ⇒元気塾参加者だけでなく誰でも参加できる形で行う ⇒2 時間程度で出入り自由で行う
実際に行うにあたっての不安なポイント・疑問点
参加者どれだけ集まってくれるのか
ボランティアのスタッフが集まるか ⇒夜は女性が出にくいので、みんなの都合の良い日を考える必要がある
場所の問題 歩いて行ける場所がいい ⇒上大木・中大木・下大木それぞれで月 1 回ずつ行う ⇒月交代で、上大木・中大木・下大木ローテーションで開催する
費用 ⇒社協から活動費 1 回 2000 円
平日の昼だと必然的に参加者が高齢者に限られてしまう 元気塾の後だと、参加者が元気塾の人に限られてしまう ⇒誰もが参加できるというカフェの趣旨が…
元気塾の後は、みんなしんどい…？

<b>「シルバー元気かい」開催目的（なぜ開催しようと思ったのか？開催した効果は？）</b>
高齢者の見守り（誕生日訪問）をする中で、閉じこもりの人が多い
外に出られない人に向けて、今回は多くの人に参加してくれた
長生会に入っていないなくても参加できるイベント
<b>よかったところ</b>
普段の活動には来てくれない人も来てくれ、人数も多かった
今までより声かけのネットワークが広がった
高齢者を対象にしたのがよかった
喜んでくれた雰囲気よかった 一緒に楽しめた
内容がよかった
<b>課題・改善点</b>
プログラム内容
⇒みんなで楽しめたらよかった
⇒演奏してもらって一緒に歌えたらよかった。皆、歌ってもらえず…
⇒（参加者の人が）何を目的に参加してくれているのか、いろいろ試してみる中で探る
費用面で難しかった（初開催ということもあって）予測がつかない
⇒対象年齢の引き上げ
⇒開催時間の検討（昼食を含まない時間に設定する）
毎年の開催は難しい
早めにプログラムを考えて、予約を早くする
<b>今後に向けて</b>
開催時間を午後からにしてみる
花見大会と元気かいどちらに比重を置くか？
⇒花見と元気かいはまた違う目的でやっているの、一度花見大会と元気かいの内容を検討してみる
<b>その他</b>
土丸の会館の利用が、もっと多くの人にできたら



## 長坂地区・地域の暮らしを話す会

日時：令和元年 10 月 29 日（火） 19 時 00 分～20 時 30 分

場所：次世代育成地域交流センター

参加人数：36 人（新泉ヶ丘 1 人・泉ヶ丘 8 人・下瓦屋南 5 人

鶴原北住宅 1 人・貝田町 7 人・新家町 6 人・鶴原東町 0 人・見出住宅 8 人）

テ ー マ：南海トラフ巨大地震に備えて

### 新泉ヶ丘

① 1 年間を振り返って		
【予定していたことで達成できたこと】		
連絡網を整備できた	飲料水の購入（全世帯分）	
【予定はしていなかったが出来たこと・進んだこと】		
市からリアカーをもらった	消火訓練を行った	警察・消防との連絡強化
南海トラフ巨大地震についての DVD を観て		
② どんな助け合いができればいいなと思いますか？		
連絡手段の確保		
優先順位準備が分かるシステムの整備		
携帯電話の電波確保		
自治会未加入者への加入案内		
伝言ダイヤルの活用		
GPS での居場所確認		
③ 優先的にどれを進めていきますか？		
連絡手段の確保（信頼関係を築く必要がある）		
④ 具体的な方策は？		
絆登録者の把握	障がい者の把握	訪問を行う（顔の見える関係づくり）

### 泉ヶ丘

① 1 年間を振り返って	
【予定していたことで達成できたこと】	
自家発電装置の使い方講習会を実施	携帯電話の充電をしておく

<b>【予定はしていなかったが出来たこと・進んだこと】</b>	
停電時のカイロ電灯準備	飲料水の準備
南海トラフ巨大地震についてのDVDを観て	
<b>② どんな助け合いができればいいなと思いますか？</b>	
家の確認（導線確保・チェック）	
連絡して無事を確認	
家族の人数把握	
暖房・冷房の準備	
火事を防ぐ（ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーをおとす）	
<b>③ 優先的にどれを進めていきますか？</b>	
絆のつながり	コミュニケーションを図り連絡を取り合う
<b>④ 具体的な方策は？</b>	
避難場所を町会館に（長坂小学校遠い）	
食料、飲料水の準備（会館に貯蔵したい）	
薬の準備	
奥地を第1避難場所しておく	

## 貝田町

<b>① 1年間を振り返って</b>	
<b>【予定していたことで達成できたこと】</b>	
安否確認名簿はほぼ整備できた	安否確認訓練を実施した
毎年10月のクリーン活動で意識は高まってきている	
<b>【予定はしていなかったが出来たこと・進んだこと】</b>	
ガレージを借用し防災倉庫を作った	
今後、備品整備を進めていく	
南海トラフ巨大地震についてのDVDを観て	
<b>② どんな助け合いができればいいなと思いますか？</b>	
危険個所の把握	
ブロック塀の補強や撤去	
町会での防災備品・保存食の準備	
安否確認訓練の回数を増やす	
<b>③ 優先的にどれを進めていきますか？</b>	
小地域ネットワーク活動と定例会議の開催 緊密度のアップ	
絆づくり登録制度を進める 緊密度のアップ	
隣組 緊密度のアップ	
<b>④ 具体的な方策は？</b>	
隣組ごとの担当者（実践的）を決めておく	
隣近所単位での話し合い（避難時の支援等）	

## 下瓦屋南町

① 1年間を振り返って
【予定していたことで達成できたこと】
手押しポンプを修理して使用できるようにした
屋根瓦修理ができた
井戸の電機が止まっても手押しポンプでくみ上げられるようにした
炊き出しが可能になった
発電機を設置した
【予定はしていなかったが出来たこと・進んだこと】
手押しポンプを3個準備できた
南海トラフ巨大地震についてのDVDを観て
② どんな助け合いができたらいいなと思いますか？
安否確認
まずは自分の身を守る 後のことはそれから考える
③ 優先的にどれを進めていきますか？
まずは自分の身を守る
④ 具体的な方策は？
トイレの水は池の水を利用する
災害ごみは何件かの家で集める
常にポンプの点検を行う

## 新家町

① 1年間を振り返って
【予定していたことで達成できたこと】
令和元年5月1日 自主防災組織を立ち上げた
【予定はしていなかったが出来たこと・進んだこと】
要支援者・要介護者の安否訪問を行う
南海トラフ巨大地震についてのDVDを観て
② どんな助け合いができたらいいなと思いますか？
優先順位を決める ①自分自身 ②家族 ③近所
自主防災組織への参加・協力
③ 優先的にどれを進めていきますか？
高齢者などの弱者への対応
町会館の活用

防災用具の整備
<b>④ 具体的な方策は？</b>
補助金を出してほしい

## 鶴原北住宅・見出住宅

<b>① 1年間で振り返って</b>
<b>【予定していたことで達成できたこと】</b>
安否確認の訓練（月1回）
1人3日分の非常食の準備
乾電池の準備（各個人）
<b>【予定はしていなかったが出来たこと・進んだこと】</b>
寝袋の準備
カセットコンロ、ボンベセットの準備
お風呂に水をためておく
南海トラフ巨大地震についてのDVDを観て
<b>② どんな助け合いができればいいと思いますか？</b>
個人の安全確保
ガス栓を閉める
電気のブレーカーを落とす
災害笛の準備（自費）
救急医療情報キットの用意
玄関に懐中電灯を準備しておく
玄関に逃げ込む
タンスの前では寝ないようにする
お風呂に水をはっておく
<b>③ 優先的にどれを進めていきますか？</b>
近所周りの確認
ドアを開け逃げ道を確保する
非常食の準備
ガスの元栓を閉める
家具の位置を考える
非常用品の入ったリュックを分かるところに置いておく
<b>④ 具体的な方策は？</b>
発電機の準備
安否確認用のタオルをかける
非常食の準備

## 日根野・地域の暮らしを話す会

日時：令和元年11月16日(土) 19時00分～20時30分

場所：日根野町会館

参加者：31名(東上4名/久ノ木5名/中筋2名/西出2名/野口1名/西上6名/新道出5名/野々地蔵4名/俵屋2名)

テーマ：支部活動の振り返りから自分たちができるところを考えよう

### 東上支部

話し合うテーマ(伸ばしたいよいところ・改善したい課題)	
クリスマス会 成功させるためには？	
目指す姿・目標は？	
対象者の全員参加 (まず最初の) 目標は50%(の参加率)	
取り組み内容	取り組み主体
・ 意見	
2階にトイレがない、会館の段差をなくす 会館の改造検討？	【町会役員】
広報・案内状の配布	【町会役員】
連絡について早い・遅いの苦情あり、連絡については時間差がないように工夫する	【民生委員】
イベントの内容によっては取り合いになる	
安全について 送迎の問題	
イベントを何にするか悩む	
対象者への呼びかけ	【民生委員】
(呼びかけに) 廻る時間帯を知る	【協力員】
連絡先のもれがないようにする	
参加していただく人の状況を知る	
高齢者のネットワークを活用(して人を呼んでくる)	【地域住民】

### 久ノ木支部

話し合うテーマ(伸ばしたいよいところ・改善したい課題)	
元気塾の参加者を増やす	
目指す姿・目標は？	
健康改善、ボケ防止、安否確認	
(参加人数は、) 世帯数の3割が目標	
取り組み内容	取り組み主体
・ 意見	
防犯カメラを設置しました (=安全確認のため)	【町会役員】

朝のパトロールが有効です（＝安全確認のため）	
参加枠の明確化、「さのぼ」もらえる（周知する）	
声かけ、チラシ、回覧版（で広報する）	【町会役員、民生委員、協力員】
自主的に朝のウォーキング（＝健康改善のため）	【地域住民】
カラオケの回数が2回/月から3～4回/月に増えた	【その他：長生会】
カラオケの利用者増やす⇒元気塾（にも引っ張ってくる）	

## 中筋・野口支部

<b>話し合うテーマ（伸ばしたいよいところ・改善したい課題）</b>
町内の各組織の活動について （各支部の福祉委員会活動がどのようなことを行っているのか共有） （町会、長生会、福祉委員会など組織間のつながりや連携について話し合う）
<b>取り組み内容 ・ 意見</b>
各組織が協力し合える体制がいい
長生会で今年度に入ってからカフェをした しかし、結局役員だけの参加になり、人が集まらないのでやめることとなった
成功事例だけでなく、失敗事例とそれをどうしていったかも教えてほしい
体操やカラオケ、100円カフェなどできたらいいなと話している

## 西上支部

<b>話し合うテーマ（伸ばしたいよいところ・改善したい課題）</b>
（1人暮らし高齢者の）盆踊り招待事業について
<b>目指す姿・目標は？</b>
（招待すると同時に）景品（を配る）
アンケート（をとって対象者に盆踊り招待について聞く）本音は？
認知症予防体操教室やカフェといった活動の増加（盆踊り招待事業が始まった当初は支部活動がほとんどなかったが今は他のものが増えてきている）
<b>取り組み内容 ・ 意見</b>
（盆踊りに）魅力がない？
⇒踊りに参加型での取り組みは？
⇒景品（をつける）
参加しても知人がいないと居心地が悪い ネット対象者の知り合いが必要
参加しやすい雰囲気づくり
参加者少ないと継続できない
対象年齢 70歳でも、75歳でも（65歳は若い）
夜道こわい 暗い、夜外出▲（＝高齢者が夜道を歩くのが心配）



招待 案内配るだけではなかなか来てもらえない
盆踊りに替わる別の事業を考える
⇒観劇会 経費の負担（があるので、）一人暮らしに限定すべき
⇒キャッシュレス勉強会？
⇒プレゼント活動 「町会未加入でももらっていいの？」（という声があがる） 水のプレゼントは喜んでもらえる
⇒一人暮らし（高齢者対象の）食事会 参加者少ない ほほえみ交流会 5 名参加 送迎はどうする？ 対象を一人暮らしにすると参加しがたい

## 西出支部

話し合うテーマ（伸ばしたいよいところ・改善したい課題）		
①町会に入っていない一人暮らしの人への訪問体制		
②町外（町会未加入）の人の参加		
目指す姿・目標は？		
①スムーズな福祉委員会活動の運営のために、（個別訪問を）一人体制から二人体制へ // 民生委員が協力員として 1,2 年は残る		
②ゆめクラブに参加してほしい		
取り組み内容 ・ 意見（①に対して）	取り組み主体	期間
訪問は 2 人で行くように（協力員さんに）教える	【民生委員】	0～3 か月
会議で（訪問を 2 人体制で行くことを）検討していく（1 月）	【福祉委員会】	
民生委員交代した後も協力員として 1 年ないし 2 年は協力員として残る	【民生委員・協力員】	
訪問体制の確立	【福祉委員会】	3～6 か月

## 新道出支部

話し合うテーマ（伸ばしたいよいところ・改善したい課題）		
サロン参加者の減少		
目指す姿・目標は？		
カフェ（月 1 回）検討		
取り組み内容 ・ 意見	取り組み主体	期間
月例会で賛否を問う	【町会役員】	0～3 か月
総会に諮る	【町会役員】	3～6 か月
1 人暮らしの方の希望を聞く	【民生委員】	

他の地区へ見学	【民生委員・協力員】	
---------	------------	--

### 野々地蔵支部

話し合うテーマ（伸ばしたいよいところ・改善したい課題）		
カフェ活動について		
目指す姿・目標は？		
カフェ活動の充実		
<b>取り組み内容</b>	<b>意見</b>	<b>取り組み主体</b>
今年よりカフェ開催 参加者約 30 名		【福祉委員会】
好評につき、2 か月に 1 回→毎月開催へ		
人形劇など民生委員活動の広報（町会でも回してもらおう）		【町会役員】
町会の回覧にて伝達		
協力員 8 名→増員可能？		【協力員】
町会加入率 170/2000（＝加入率をあげていきたい）		【町会役員】
新興住宅住民のボランティア意識（を高めたい）		【地域住民】
組織の任期見直し		【福祉委員会】

### 俵屋支部

話し合うテーマ（伸ばしたいよいところ・改善したい課題）		
町会加入少なく、つながりができない		
目指す姿・目標は？		
町会への加入率を上げる		
<b>取り組み内容</b>	<b>意見</b>	
声かけ訪問		
新興（開発）住宅の加入		
つながりができない 困っている		
役が負担		
町会加入への義務付け可能??		

## 南中地区・地域の暮らしを話す会

日時：令和元年9月6日（金） 19時00分～20時30分

場所：南部市民交流センター

参加人数：47人（安松/16名、岡本/13名、樫井東/9名、樫井西/9名）

テーマ：福祉委員会主催の活動について振り返ろう！

### 安松①

<b>ワーク①）南中地区及び各支部の小地域ネットワーク活動について振り返ろう</b>	
個別支援活動について（どんな人に声かけしていますか？）	
一人暮らし高齢者	
個別支援活動について（どういった方法で見守り声かけをしていますか？）	
不定期に声かけ	近所の人に声かけ
<b>グループ支援活動について</b>	
（活動名）子育てサロン （目的）親と子どもの交流 （プログラム内容・頻度）第2水曜日、1回/月 （対象者・人数）2人～4人・幼児	
（活動名）カラオケクラブ （目的）趣味・認知症の予防 （プログラム内容・頻度）木曜日、1回/週 （対象者・人数）15人～20人・高齢者	
（活動名）花見・食事会 （目的）交流 （プログラム内容・頻度）1回/年 （対象者・人数）20人～30人、一人暮らし	
（活動名）見守り （目的）子どもの安全 （プログラム内容・頻度）毎日 （対象者・人数）小学生	
<b>【その他団体の活動】</b>	
（活動名）カラオケ元気塾 （目的）趣味・認知症の予防 （プログラム内容・頻度）第3木曜日、1回/月 （対象者・人数）14人～16人、高齢者	
<b>ワーク②）成果について書き出そう！（うまくいったこと・よかったこと（成果））</b>	
ストレス解消	仲良くなる
痴呆症の予防	
<b>ワーク③）改善したいこと（ここが気になるから改善したいこと）</b>	
人数を増やす	活動をアピールする
<b>ワーク④）今、福祉委員会に求められていること・期待されていること</b>	

やっていきたいこと	
福祉委員・民生委員をアピール	コミュニケーションの場を作る

## 安松②

ワーク①) 南中地区及び各支部の小地域ネットワーク活動について振り返ろう	
個別支援活動について（どんな人に声かけしていますか？）	
独居高齢者	近所の顔見知りの方
個別支援活動について（どういった方法で見守り声かけをしていますか？）	
概ね月 1 回程度、訪問見守りしている	近くを通ったとき訪問する
こんにちはと言いながら元気かどうか確認をする	通るときに新聞受けなどを見る
グループ支援活動について	
<p>（活動名）カラオケの健康教室  （目的）お互いに元気の確認  （プログラム内容・頻度）毎週木曜日  （対象者・人数）対象者 14 人・協力員 5 人</p>	
<p>（活動名）子育てサロン  （目的）入学前の児童とお母さん  （プログラム内容・頻度）毎月 1 回、第 2 水曜日  （対象者・人数）平均 3.3 組、協力員 6.6 人</p>	
<p>（活動名）花見交流会  （目的）独居高齢者と福祉委員との交流  （プログラム内容・頻度）ピンゴゲーム  （対象者・人数）対象 22 人・協力員 18 人</p>	
<p>（活動名）昼食交流会  （目的）独居高齢者と福祉委員との交流  （プログラム内容・頻度）くじ引き抽選会  （対象者・人数）対象者 22 人・協力員 21 人</p>	
【その他の活動】	
年末訪問お一人暮らし、町内運動会、元気体操、子ども食堂	
ワーク②) 成果について書き出そう！（うまくいったこと・よかったこと（成果））	
顔と名前が分かるようになった	独居高齢者の一部の人が皆と敢えて喜んでくれた
ワーク③) 改善したいこと（ここが気になるから改善したいこと）	
子育てサロンの対象者が最近少なくなっている	若い人も参加して欲しい。協力員として。
ワーク④) 今、福祉委員会に求められていること・期待されていること	
やっていきたいこと	
熱中症予防の目的で水の配布	電機器具（球）の交換
町内の各種団体との情報交換会	

岡本

<b>ワーク①) 南中地区及び各支部の小地域ネットワーク活動について振り返ろう</b>	
個別支援活動について（どんな人に声をかけていますか？）	
一人暮らし高齢者	
個別支援活動について（どういった方法で見守り声かけをしていますか？）	
月1回定期	チェックシート担当者
グループ支援活動について	
（活動名）昼食交流会 （目的） （プログラム内容・頻度） （対象者・人数）一人暮らしの方・19人	
（活動名）盆踊り・祭り （目的）盆踊、祭り招待	
<b>ワーク②) 成果について書き出そう！（うまくいったこと・良かったこと（成果））</b>	
訪問を待っておられます	
<b>ワーク③) 改善したいこと（ここが気になるから改善したいこと）</b>	
時間と資金の不足	訪問時に問題有りのとき！
<b>ワーク④) 今、福祉委員会に求められていること・期待されていること やっていきたいこと</b>	
カフェを一度試してみようと思う	元気塾の継続・カラオケの継続

樫井東

<b>ワーク①) 南中地区及び各支部の小地域ネットワーク活動について振り返ろう！</b>	
個別支援活動について（どんな人に声をかけていますか）	
①独居高齢者	②子どもの見守り
個別支援活動について（どういった方法で見守り声かけをしていますか）	
①家庭訪問（福祉委員会）	①友愛訪問（子どもと同行）
②登下校見守り（あいさつ）	
グループ支援活動について	
（活動名）いきいきサロン （目的）独居高齢者交流 （プログラム内容・頻度）食事会・勉強会、年1回 （対象者・人数）独居高齢者、13名	
（活動名）世代間交流 （目的）子どもとのふれあい （プログラム内容・頻度）ラジオ体操・祭りの出店・鳴物の練習 （対象者・人数）ラジオ体操 213名、祭りの出店 130名、鳴物の練習 254名	
（活動名）敬老の日を祝う会 （目的）	

(プログラム内容・頻度) 高齢者の食事会、年 2 回 (対象者・人数)	
ワーク②) 成果について書き出そう! (うまくいったこと・よかったこと (成果))	
友愛訪問: 子どもと高齢者との交流ができた	世代間交流: 町内に活気が出た
ワーク③) 改善したいこと (ここが気になるから改善したいこと)	
ワーク④) 今、福祉委員会に求められていること・期待されていること やっていきたいこと	
交流の機会が少ない	CAFE をしたいなあ

## 檜井西

ワーク①) 南中地区及び各支部の小地域ネットワーク活動について振り返ろう!	
個別支援活動について (どんな人に声かけをしていますか)	
①一人暮らし 65 歳以上	②誕生日の人に記念品をプレゼント
③年末のあいさつ、おはしプレゼント	
個別支援活動について (どういった方法で見守り声かけをしていますか)	
①月 1 回、第 1 日曜日	
グループ支援活動について	
(活動名) 花見 (目的) 桜の木の下で春を感じる (プログラム内容・頻度) カラオケ・食事会 (対象者・人数) 地域高齢者 50 人	
(活動名) 一人暮らし高齢者研修昼食会 (目的) 交流会、研修 (プログラム内容・頻度) 食事会、研修 (対象者・人数) 一人暮らし 30 人	
(活動名) 世代間交流 (目的) 高齢者と子供の交流 (プログラム内容・頻度) しめなわ作り (対象者・人数) 高齢者 10 人、子ども 50 人	
ワーク②) 成果について書き出そう! (うまくいったこと・よかったこと (成果))	
大変喜んで頂きました	次回も期待されています
ワーク③) 改善したいこと (ここが気になるから改善したいこと)	
来たことがない人にも来てもらいたい	来る人は毎回同じ
ワーク④) 今、福祉委員会に求められていること・期待されていること やっていきたいこと	
現状を維持できるように!!	



## 中央地区地域の暮らしを話す会

日時 : 令和元年11月9日(土) 10時30分~12時00分

場所 : 中町町会館

参加人数 : 16人

(市場町4人、松風台1人、日根野西4人、葵町2人、幸町1人、中町4人)

テーマ : 『暮らす地域で想うこと 若い世代にバトンを繋ごう』

### 市場支部

#### 現在の取り組みについて

現在の取り組みについて
子ども会中心の夕涼会 毎年参加者は増えている。
全住民が参加できる福祉まつり(住民参加)
ふれあい祭りによって各団体の連携強化。(現在までに12回開催)

#### これからの取り組みについて

これからの取り組みについて
役員の負担を軽減する。
若手の災害ボランティア募集
高校生・大学生の若い“力”を活用できる取り組み
青年層に活動に参加してもらう努力

### 中町・葵町支部

#### 現在の取り組みについて

現在の取り組みについて	
月4回の子育てサークル(葵町)	
月1回の一人世帯訪問(葵町)	
第3水曜日にコミュニティカフェを開催 (中町)	カフェ参加者が少ない時には友人に声掛け。新規の集客問題あり。
次世代の開拓	
町外者への対応	

#### これからの取り組みについて

これからの取り組みについて	
子どものいる家庭への声掛け	公園に行って声かけを行う
子ども会の人数を増やす。子ども間での声かけを行う	
カフェの内容を考察し、情報・知識を提供する	
出入り口の看板	
次回のカフェの内容を回覧する(PR不足)	回覧のスピードを上げる

社協と協力し町単位での勉強会を開催する
各種団体の密接化（長生会・婦人会・子ども会）

**幸町・松風台・日根野西支部**

**現在の取り組みについて**

現在の取り組みについて
中央小で防災の取り組み
声掛け運動等の隣人同士での助け合い
訪問時に熱中症・インフルエンザなどの季節ごとの注意喚起
特殊詐欺に対する注意喚起
月1回のネット対象者の訪問
大防災訓練の参加呼びかけ
課題
町自治会の理解度が薄い住民が多く、年間行事の参加者が少数
常に災害への心構えが大切だが、なぜ平日にできないのか？
大切なのは、常に災害の事故を考えて過ごすこと。どうすればよいか？
災害時の助け合いの心がうすくなっているのではないか？
役所職員の話では、災害は最後は本人自身が動くこと/他人に頼るな

**これからの取り組みについて**

これからの取り組みについて	
平和ボケ	訓練が大切
自分に都合の良いように考える	
プライバシーより命	間三軒両隣助け合い
時間・つながりの大切さ	
町の実態把握	
登下校時に花の水やりを行う	洗濯の際に登下校時の見守りを行う

## 二小地区・地域の暮らしを話す会

日時：令和元年 10月 25日（金） 19時 00分～20時 00分

場所：高松町総合会館

参加者：14名（高松 5名／高松東 4名／高松北 4名／上町 1名）

テーマ：他地域の取り組みを知り、小ざくらネットの活動に活かせることや課題を考えよう

### 高松町支部

「いいな」「参考になった」「取り入れてみたいな」と思ったポイントは？	なぜ気になった？その理由は？（支部活動の現状や課題を踏まえて）
男性の不満（グチ）を話せる場所	→（男性が気軽に）集う場の確保
男性の参加（できる工夫、できる居場所）	
身近な集いの場づくり	→井戸端会議の行きやすさ
幅広い世代の交流	子ども会の協力 レクへの参加
	→町会人材のジリ貧
	地域に若い人が増えていく（中で、できる取り組みはないか）

### 高松北町・高松東町支

「いいな」「参考になった」「取り入れてみたいな」と思ったポイントは？	なぜ気になった？その理由は？（支部活動の現状や課題を踏まえて）
男性の社会参加の場づくり	いずれも男性参加が少ないので気になった
男性の料理 オムライスづくり	
男性のぜひ参加をよろしく	
コミュニティカフェの取り組み	佐野公民館目に社協のサテライトでカフェ活動をしているので、町会員にも知らせて集まるようにすればいい
身近な集いの場づくり	→参加費が手ごろでよい
参加者の趣味や特技をいかした教室の開催	

上町支部

<p>「いいな」「参考になった」「取り入れてみたいな」と思ったポイントは？</p>	<p>なぜ気になった？その理由は？（支部活動の現状や課題を踏まえて）</p>
<p>プランなしのコミュニティカフェ 「いいな」</p>	
<p>事業所と連携 「いいな」</p>	<p>→ 連携のためのそこをつなぐ人、世話する人をどうする？</p>
<p>男性参加の場づくり 「いいな」</p>	<p>→ 上町の交流会でも男性の参加が少ない。上町は、民生委員以外の協力員がないので、対応できない</p>
<p>商店街の空き店舗 「参考になった」</p>	<p>→ 上町の商店街は空きが多いと思うが、（交渉しても）借りる話にならないと思う</p>
<p>（このセルは対角線が引かれており、内容が空白です）</p>	<p>「いいな」・・・取り組みはいいなと思う。 ↓ するととなると世話する人、費用が問題になる</p>
	<p>「小ざくらネット」では、 ・支部での活動 ・全体活動（電車でゴー、二小都の交流） ・子育てサロン の3本柱 ↓ 今のところ、これで手一杯だが、何かもっとできることはないかとの思いから本日の会（のテーマ設定をした）。昼間の活動では推進委員が手伝えないが、夜の活動では参加がない。何ができるかな？</p>



作成者：社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会  
作成日：令和2年8月

この冊子は、《泉佐野市安心生活創造推進事業》に基づく補助金によって作成しました。